

**CUSTOM**  
TOKYO JAPAN

無線折りたたみ式プローブ温度ロガー  
型番：CT-600BT

## 取扱説明書



App Store

からダウンロード



ANDROID アプリ

Google Play

## ご使用前にお読みください

### 本取扱説明書について

本取扱説明書の一部または全部について、写真、複写、検索システムへの保存、または他の言語への翻訳を含む電気的手段、機械的手段、およびその他のいかなる方法によっても、複製または転用することを禁じます。

### 商標について



- Apple、Apple ロゴ、iPad、iPhone、iPod touch は米国および他の国々で登録された Apple Inc. の商標です。  
App Store は Apple Inc. のサービスマークです。
- Android および Google Play は、Google Inc. の商標または登録商標です。
- Bluetooth のワードマーク及びロゴは、Bluetooth SIG, Inc. が所有する登録商標であり、これらのマークをライセンスに基づいて使用しています。
- Microsoft および Excel は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- 上記以外の製品名、会社名は、各社の登録商標または商標です。

## 安全にご使用いただくために

本器をご使用になる前に安全上のご注意と取扱説明書をよくお読みいただき、正しくご使用ください。

取扱説明書のPDF版はこちらをご覧ください。



 <b>警告</b>	人が死亡または重傷を負うおそれがある内容を示しています。
 <b>注意</b>	人が傷害または財産に損害を受けるおそれがある内容を示しています。

 **警告**

- 指定の方法、条件以外での使用は絶対に行わないで下さい。
- 落下や過度の衝撃、振動を与えないで下さい。  
本器を破壊したり重大事故を引き起こしたりする恐れがあります。
- 故障が疑われる場合は使用をおやめ下さい。  
使用前に亀裂、破損等の異常がないかを十分確認し、本器の使用中に異常が発生した場合は、すぐに使用を中止して下さい。
- 本器の分解、改造は行わないで下さい。  
修理が必要な場合は、購入された販売店にお問い合わせ下さい。
- 本器を加熱したり火中に投入したりしないで下さい。  
破裂による火災、怪我の恐れがあります。
- 危険物、発火物、爆発の恐れがある場所では使用しないで下さい。  
重大事故を引き起こす恐れがあります。
- 本器を濡れた手で扱ったり、水で濡らしたりしないで下さい。  
感電など重大事故を引き起こす恐れがあります。
- 電池は乳幼児の手の届かない所に置いて下さい。  
万一、電池を飲み込んだ場合は、すぐに医師に相談して下さい。
- 電池の液は舐めないで下さい。  
万一、舐めた場合はすぐにうがいをして、医師に相談して下さい。
- 電池の液が目に入ったり皮膚や衣服に付着したりした場合は、すぐに多量のきれいな水で洗い流して下さい。  
失明や皮膚に障害を起こす恐れがありますので、医師の治療を受けて下さい。

- 電池のプラス、マイナスを逆にして使用しないで下さい。  
異常反応を起こし、電池を漏液、発熱、破裂させる恐れがあります。
- 電池のプラス、マイナスを針金などで接続したり、金属製のネックレスやヘアピンなどと一緒に持ち運んだり、保管しないで下さい。  
電池がショートした状態になり、過電流が流れたりして電池を漏液、発熱、破裂させる恐れがあります。
- 新しい電池と使用した電池や古い電池、銘柄や種類の異なる電池を混ぜて使用しないで下さい。
- 本器が濡れている時や湿気の多い場所では絶対に使用や電池交換をしないで下さい。また濡れた手で電池交換をしないで下さい。  
感電の危険があります。
- 長時間使用しない場合には、本器から電池を取り外して下さい。  
また使い切った電池はすぐに本器から取り出して下さい。  
電池から発生するガスにより電池を漏液、発熱、破裂させたり、本器を破損させたりする恐れがあります。
- 電池を廃棄する際は、電極にテープを貼り絶縁して市町村の指示に従い、適切に廃棄して下さい。  
端子が他の金属と触れると発熱・破裂事故の恐れがあります。  
また電池を加熱すると破裂する恐れがありますので絶対に火の中へ入れないで下さい。
- 電池交換後は必ず電池カバーを閉じてから使用して下さい。
- 損傷や火災事故防止の為、電子レンジなどマイクロ波加熱炉では絶対に使用しないで下さい。
- プローブ先端は、固形物に刺し込んで測定するために尖っています。使用中あるいは保管の際は怪我をしたり目に刺したりしないように十分注意して下さい。  
使用しない時はプローブを折りたたんで保管して下さい。
- 硬い固形物の測定の際、無理にプローブを挿し込んだり余計な力をかけないで下さい。プローブが折れて重大事故を引き起こす恐れがあります。
- 測定対象物が高温または低温の場合はプローブに触らないで下さい。プローブが熱くなったり冷たくなったりしてやけどや怪我を引き起こす恐れがあります。

 **注意**

- 高温や低温のところ、直射日光の当たる場所でのご使用、夏季の車内での放置はおやめ下さい。
- 極端な温度変化のある環境でのご使用は結露の原因になりますので注意して下さい。
- 周囲に雑音を発生させる装置のある場所や静電気の溜まっている物体の近くでは使用しないで下さい。  
表示が不安定になったり、誤差の原因になります。
- 冬季の室外での使用は、本体の温度低下により応答速度が遅くなることがあります。また電池の消耗が常温での使用に比べて早くなります。
- 暖房器具などの周辺での使用は、本体のプラスチックの変形・故障の原因になります。
- センサーのステンレス部以外は防水構造ではありません。  
絶対に水に浸したり濡れたりしないように十分にご注意下さい。
- 高温の油や、硫酸などの劇薬には使用しないで下さい。  
センサー部の劣化や本器の故障の原因になります。
- 調理や実験などにおける温度測定は火を止めて行って下さい。  
熱が本器内部の電気回路に伝わり表示不良や機能低下、故障の原因になります。
- 表示部、操作ボタンのある本体部分は高温または低温の測定対象物や測定対象物を入れた容器などから最低25mm以上離して測定を行って下さい。熱や冷気が本器内部の電気回路に伝わり表示不良や機能低下、故障の原因になります。
- 本器に付着した汚れは乾いた柔らかい布でふき取って下さい。  
汚れがひどい場合は薄い中性洗剤溶液を浸し、固く絞った柔らかい布で拭き、その後乾いた柔らかい布で拭き取って下さい。  
研磨剤やアルコール、シンナー、ベンジンなどの揮発性溶液は表面仕上げを傷めたり、機能低下や故障の原因になりますので絶対に使用しないで下さい。

## Bluetooth機器について

本器は、電波法に基づく小電力データ通信システムの無線設備として、認証を受けたモジュールを使用しています。

- ・本器を使用する際に、無線局の免許は必要ありません。
- ・本器を分解、改造して使用すると、電波法違反になる場合があります。
- ・日本国外で使用しないで下さい。国によって電波使用の制限が異なり、本器を使用した場合に罰せられることがあります。

### **本器を使用する際の注意事項**


本器の使用周波数帯では電子レンジ等の産業・科学・医療用機器の他、他の同種無線局、工場の製造ライン等で使用されている免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要するアマチュア無線局、免許を要しない特定小電力無線局等（以下「他の無線局」と略す）が運用されています。

- ・本器を使用する前に、近くで他の無線局が運用されていないことを確認してください。
- ・万一、本器と他の無線局との間で電波干渉が発生した場合は、速やかに本器の使用場所を変えるか、機器の運用（電波の発射）を停止してください。
- ・不明な点や、その他お困り事が生じた場合は保証書に記載の連絡先までお問い合わせください。

本器は2.4GHz帯を使用します。  
変調方式としてDS変調方式を採用し、  
与干渉距離は10mです。

2 . 4 D S 1

## 基本編

 まずは簡単に使いたい方

製品仕様

製品仕様 / 各部の名称 / グラフ表示

はじめに

Step-0.準備


- ・電池を取り付けて下さい
- ・アプリをインストールして下さい

Step-1.端末との接続

Step-2.ロギングの開始とグラフ

Step-3.データの確認と共有

## 応用編

 温度 / 時間等細かい設定を行いたい方

Step-4.パラメータ(測定条件)設定

- ① 温度警告の設定
- ② サンプル間隔条件の選択
- ③ サンプル間隔区分の選択
- ④ 時間帯 (又は温度帯) の設定
- ⑤ サンプル間隔の設定
- ⑥ 測定時間の設定
- ⑦ ログリストの表示
- ⑧ スリープモードの設定

Step-5.その他の機能

- ① 本器の名前の変更
- ② 接続解除 (削除) の方法
- ③ ログデータの名前の変更
- ④ ログデータに写真の添付
- ⑤ ログデータにメモの書き込み
- ⑥ ログデータの削除

温度測定範囲	-40℃～+250℃（センサー部のみ）
温度分解能	0.1℃
温度確度	±1℃（-18℃～+100℃） ±2℃（-30℃～-18.1℃、+100.1℃～+200℃） ±3℃（-40℃～-30.1℃、+200.1℃～+250℃）
本体記録可能ポイント	最大14000件（※1）
ロギング間隔	1秒～15分（1秒単位で設定可）
ロギング間隔区分	1～5区分（温度帯又は時間帯）
使用温湿度	0℃～+40℃， 10%RH～90%RH、但し結露なきこと
保存温湿度	-20℃～+60℃， 10%RH～95%RH、但し結露なきこと
通信距離	見通し10m（※2）
対応OS	iOS 7.1以上、Android 4.3以上（※3）
Bluetoothバージョン	Bluetooth 4.0
本体サイズ	約160 x 32 x 22 mm
プローブ部サイズ	先端φ2.2mm、太径部φ3.5mm、長さ約99mm
質量	約82g（電池含む）
電源	単4形乾電池×2本（※4）
電池寿命	約4ヶ月（Bluetooth接続1分/日の場合）（※5）
付属品	取扱説明書、単4形乾電池×2本

本器及びアプリの仕様および外観は、改良の為予告なく変更する場合があります。ご了承ください。

- ※1. 端末との接続が切れた場合に本体にデータが蓄積され、再接続時端末にデータが自動転送されます。（14000件を超えると自動的に停止します。）
- ※2. 通信距離は、通信を行う機器の性能やそれぞれの電池残量、周囲の環境に依存します。
- ※3. 対応OSバージョンについての詳細は弊社HPにてご確認ください。
- ※4. 本器に付属の電池は試供品です。初めてご使用いただく際には必ず新しい電池と交換して下さい。
- ※5. 使用頻度、使用状態により電池の寿命は短くなります。

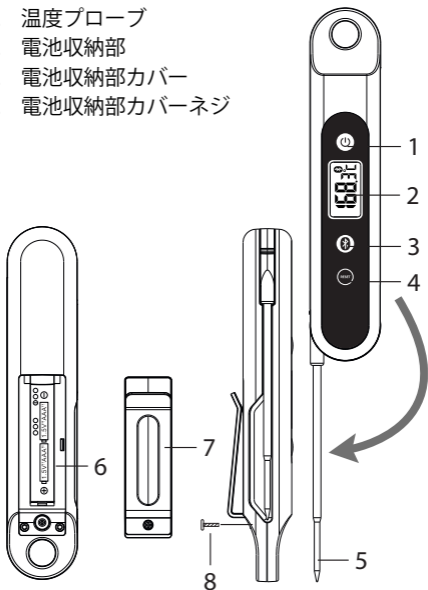


## ＜各部の名称＞

1. 電源ボタン
2. LCD表示部
3. 接続ボタン

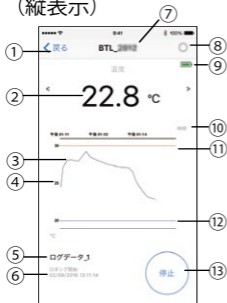
(接続解除は「Step-5 ② 接続解除(削除)の方法」を参照)

4. リセットボタン
5. 温度プローブ
6. 電池収納部
7. 電池収納部カバー
8. 電池収納部カバーネジ



## &lt;グラフ表示 (例)&gt;

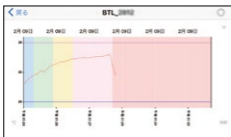
(縦表示)



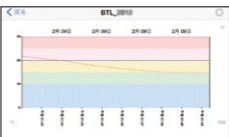
- ① 「戻る」ボタン
- ② 測定温度表示
- ③ 測定グラフ表示
- ④ 温度目盛り
- ⑤ ログデータ名
- ⑥ ログ開始時刻  
(月/日/年、時/分/秒)
- ⑦ 個別 ID (製品名)
- ⑧ 設定画面表示ボタン
- ⑨ 本器の電池残量表示
- ⑩ 時刻表示
- ⑪ 温度警告最大値ライン
- ⑫ 温度警告最小値ライン
- ⑬ ログ開始/停止ボタン

(横表示) サンプル間隔区分：5 区分に設定時

サンプル間隔区分：時間帯



サンプル間隔区分：温度帯



区分1 区分2 区分3 区分4 区分5

区分5

区分4

区分3

区分2

区分1

端末を横向きにするとグラフを横表示にできます。  
設定した時間帯、または温度帯のサンプル間隔区分  
毎に色分けして表示されます。

(サンプル間隔区分を1区分に設定時は1色で表示)  
※測定時間を「連続」に設定している時は色分けされま  
せん。

開梱したらすぐにキズや変色など外観上の異常や付属品に欠品がないかを確認して下さい。

万一、不具合がありましたら購入された販売店までご連絡ください。

## 動作環境について

対応OS：iOS 7.1以上、Android4.3以上

(注意) ・対応OSのバージョンについての詳細は弊社HPにてご確認ください。

- ・お客様固有の環境理由により、ご利用いただけない場合がありますので、ご了承ください。
- ・全ての端末及びOSのバージョンに対して動作を保証するものではありません。
- ・OSのバージョンやお使いになる端末の種類によって表示される画面が本書と異なる場合があります。

またインターネット接続の制限設定によっては、一部機能が制限される場合があります。

### 端末操作の用語説明

タップ：画面上のアイコンなどを指1本で軽くたたく操作

スワイプ：画面上を指1本で触れて、そのまま上下左右どちらかの方向に滑らせる操作

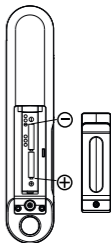
ピンチイン・ピンチアウト

：画面上を指2本で触れて、その指と指の間を縮めたり、広げたりする操作

## Step-0.準備

## ① 電池を取り付けて下さい。

1. 電池収納部のネジを外してカバーを開けて下さい。
2. 単4形乾電池2本を極性(+)/(-)表示を確認して収納して下さい。
3. 電池収納部カバーを元のように閉じネジを締めて固定して下さい。  
端末と接続された本器の電池を交換した際は自動的に端末と再接続されます。



## 4. 電源のオン・オフ

オン：電源ボタン 2 秒長押し（ビープ音 2 回）

オフ：電源ボタン 5 秒長押し（長いビープ音）

## ② アプリをインストールして下さい。

（端末のインターネットへの接続が必要です。）


## &lt;QRコードを使用する場合&gt;

1. 端末で右記のQRコードを読み取り、アプリをインストールして下さい。

[http://www.kk-custom.co.jp/dth/CT-600BTseries\\_apps.html](http://www.kk-custom.co.jp/dth/CT-600BTseries_apps.html)



## &lt;アプリを自分で検索する場合&gt;

1. 専用アプリ (BTLogger) をiPhone、iPad、iPod touchの場合はApp Store から、Androidの場合はGoogle Playから検索して下さい。
2. 「BTLogger」を選択して端末にインストールして下さい。
3. アプリを起動する前に、端末のBluetooth機能をONにして表示マーク「」が出ていることを確認して下さい。設定方法については端末の取扱説明書をご確認ください。



## Step-1.端末との接続

1. 「BTLogger」のアイコンをタップするとアプリが起動し初期画面が表示されます。(図-1)
  2. 「新しいデバイスと接続します」をタップします。
  3. 本器の電源が入っていることを確認し接続ボタン「✱」を5秒以上押し続けるとビープ音が1回短く鳴り、接続が成功するとアプリの画面に接続した本器の個別ID (BTL\_XXXX)が表示されます。(図-2)
- ※ もしアプリの画面上に個別IDが表示されない場合は、本器とお使いの端末を近づけ、もう一度接続の操作を行って下さい。
4. 画面上(図-2)に表示された個別IDをタップするとビープ音が2回鳴り、本器と端末の接続を開始します。
- ※ アプリ画面上に表示された個別IDをタップするまでの時間が長いとアプリの画面上の個別IDの表示が消え、接続できません。その場合はもう一度本器の接続ボタンを押してやり直して下さい。
  5. 接続が成功すると、個別IDの右に現在の測定温度が表示されます。

(図-3)



図-1



図-2



図-3

## ＜初めて接続する場合＞

6. 個別IDをタップすると（図-4）が表示されます。
7. 「設定」をタップするとパラメータ（測定条件）の設定画面が表示されます（図-5）。設定値を確認し「完了」をタップします。出荷時は全温度範囲で同じサンプリング間隔で測定できるように、以下の値に設定されています。

- ・温度警告：0℃～+50℃以外で警告
- ・サンプリング間隔条件：温度
- ・サンプリング間隔区分：1
- ・温度帯：-40℃～+250℃
- ・サンプリング間隔：10秒
- ・測定時間：連続

設定変更を行う場合は「Step-4.パラメータ(設定条件)設定」を参照して下さい。

## ＜過去に接続したことがある場合＞

6. 初期画面（図-3）で個別IDをタップすると（図-6）が表示されます。
7. 設定の方法を選択しタップします。  
**前回の設定**：前回の設定をそのまま使用する場合。タップするとデータ表示画面になります。（図-7）  
 →「Step-2. ロギングの開始とグラフ」を参照して下さい。

**設定**：新たな設定を行う場合。タップすると設定画面が表示されます。（図-5）

→「Step-4.パラメータの設定」を参照して下さい。



図-4



図-5



図-6

## Step-2.ロギングの開始とグラフ


1. データ表示画面（図-7）で「開始」アイコンをタップするとロギング（測定）が開始します。
2. 「停止」アイコンをタップするとロギングが停止します（図-8）。ロギング停止中に画面右上の「」アイコンをタップすると「パラメータ（測定条件）の設定画面」を表示できます。（図-5）



図-7

- （重要）** 本器が接続できる端末は1台です。測定データは常に端末に送信されます。但し、ロギング中に本器と端末の接続が途切れた場合（※注）、その間のログデータは本器内に蓄積されます。本体に蓄積できるデータは最大約14000件です。



図-8

最大値を超えると測定は自動的に停止します。蓄積されたログデータは同じ端末が再び接続可能な状態になると自動的に接続されデータが端末に送信されます。

異なる端末にはデータは転送できません。

- （※注）・本器と端末の距離が通信範囲外になった時。  
 ・端末のアプリを終了した時。  
 ・端末のBluetooth機能をOFFにした時。  
 ・端末の電源をOFFにした時。など

## 3. グラフ表示と見方

左にスワイプ

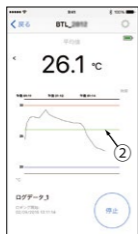


図-9

右にスワイプ

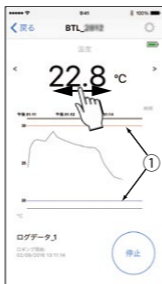


図-10

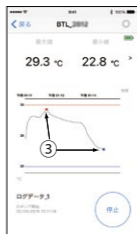



図-11

- ① 温度警告値ライン (図-10)  
設定した警告温度範囲を最大値は赤線、最小値は青線で表示します。
- ② 測定温度の平均値表示 (図-9)  
ロギング中に測定温度表示部を左にスワイプします。平均値が緑の線で表示されます。
- ③ 測定温度の最大値/最小値表示 (図-11)  
ロギング中に測定温度表示部を右にスワイプします。最大値は赤いドット、最小値は青いドットで表示されます。
- ④ グラフの拡大/縮小  
グラフ部をピンチイン/ピンチアウトすると表示部を拡大/縮小ができます。



## Step-3.データの確認と共有

1. ロギング停止中にデータ表示画面（図-7）右上の「」をタップして表示されるパラメータの設定画面（図-5）の「ログリスト」をタップします。
2. 表示されたログ一覧（図-12）から対象のログリストを選択し名前の右の「>」をタップします。
3. 「CSV」「グラフ」を選択しタップすると表示形式を切替える事ができます。（図-13、図-14）
4. 「共有」をタップするとデータ共有ができます。
5. データ形式（図-15）を選択し、次に共有（出力）方法（図-16）を選択してください。

（注意）メール送信をする場合はインターネット接続が必要です。



図-12

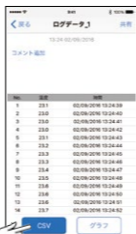


図-13

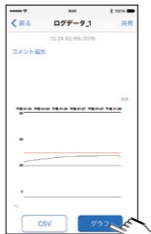


図-14

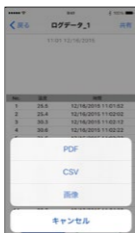


図-15



図-16

## Step-4.パラメータ(測定条件)設定

本器は測定する時間帯または温度帯を最大5つの区分に分けて、その区分毎にサンプリング間隔(時間)を設定することができます。

## 設定画面(各種設定を行います)



サンプリング間隔条件:「時間」選択時



サンプリング間隔条件:「温度」選択時

① 温度警告	ロギング中に測定温度が、設定した温度範囲を外れると警告音でお知らせします。
② サンプリング間隔条件(時間/温度)	サンプリング間隔の条件を温度帯又は時間帯のいずれかを選択します。
③ サンプリング間隔区分	サンプリング間隔の区分を1~5区分で設定できます。
④ 時間帯/温度帯	③で選択した時間帯又は温度帯のサンプリング間隔区分毎にサンプリングの条件を設定します。
⑤ サンプリング間隔	④で設定した条件毎にサンプリング間隔(時間)を設定します。
⑥ 測定時間	測定時間合計を表示します。
⑦ ログリスト	ログ(測定データ)リストを表示します。
⑧ スリープモード	端末のスリープモードをON/OFFします。

## ① 温度警告の設定

1. 「温度警告」をタップして表示される設定画面（図-17）の数字部分を上下にスワイプして回転させ、最大値/最小値をそれぞれ設定して下さい。

0℃以下に設定する場合は「-」を選択します。

最大値/最小値は-40℃～250℃の範囲で設定できます。

2. 設定が終了したら画面右上の「完了」をタップします。




※ 警告音は本器の「」ボタンの長押し又はアプリ画面の「OK」をタップすると止まります。（図-18）



図-17

## ② サンプル間隔条件の選択

時間  又は温度  をタップして選択して下さい。

## ③ サンプル間隔区分の選択

1. 「サンプル間隔区分」をタップして表示される設定画面（図-19）の数字部分を上下にスワイプして回転させ、間隔区分数を選択して下さい。
2. 設定が完了したら画面右上の「完了」をタップします。

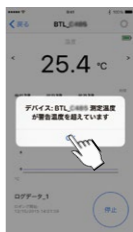


図-18

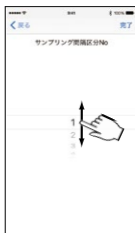


図-19

## ②で「時間」を選択した場合

間隔区分の時間帯毎に設定を行います。

## ④ 時間帯の設定

- 「時間帯」表示の下の時間表示部（図-20 ④）をタップして表示される時間入力画面（図-21）の数字部分を上下にスワイプして回転させ、日/時/分/秒をそれぞれ設定して下さい。日/時間はタップして切替えます。
- 設定が終了したら画面右上の「完了」をタップします。

## ⑤ サンプルング間隔の設定

- 「サンプルング間隔」表示の下の時間表示部（図-20 ⑤）をタップして表示されるサンプルング間隔設定画面（図-22）の数字部分を上下にスワイプして回転させ、サンプルング時間を分/秒で設定して下さい。（1秒～15分、1秒単位で設定できます）
- 設定が終了したら画面右上の「完了」をタップします。

- (注意)・④で設定した時間帯より長いサンプルング間隔の設定はできません。
- ・サンプルング間隔設定が短いと電池の寿命が短くなります。



図-20

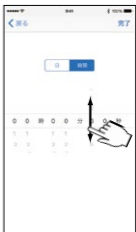


図-21

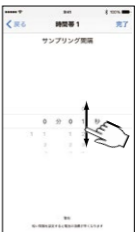


図-22

## ⑥ 測定時間の設定

1. 設定が完了すると設定したサンプリング時間の合計が「測定時間」に表示されます。表示された時間が経過すると測定は自動的に停止します。

2. もし連続して測定したい場合は「連続」をタップします。「測定時間」が「連続」表示に変わり(図-23)、本体の記録可能ポイントまで測定を継続します。もう一度「連続」をタップすると測定時間表示に戻ります。

(注意)「連続」を選択した場合は測定時間経過後のサンプリング間隔は設定した最後の時間帯のサンプリング間隔が継続されます。



図-23



図-24

### ②で「温度」を選択した場合

間隔区分の温度帯毎に設定を行います。

## ④ 温度帯の設定

1. 「温度帯」表示の下の温度表示部(図-24 ④)をタップして表示される最大値と最小値入力画面(図-25)の数字部分を上下にスワイプして回転させ、最大値(上限値)と最小値(下限値)をそれぞれ設定して下さい。0℃以下に設定する場合は「-」を選択します。( -40~+250℃の範囲で設定します。)



図-25

## ⑤ サンプル間隔の設定

- 「サンプル間隔」表示の下の時間表示部（図-24⑤）をタップして表示されるサンプル間隔設定画面（図-26）の数字部分を上下にスワイプして回転させ、サンプル間隔時間（分/秒）を設定して下さい。

（1秒～15分で1秒単位で設定できます。）

- 設定が終了したら画面右上の「完了」をタップします。

（注意）サンプル間隔設定が短いと電池の寿命が短くなります。

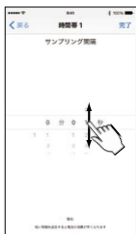


図-26

## ⑥ 測定時間の設定

測定を自動的に停止する時間を設定します。

- 「測定時間」をタップして表示される時間設定画面（図-27）の数字部分を上下にスワイプして測定時間を設定して下さい。

- 連続して測定したい場合は  部分をタップして「連続」を「オン」にします。

- 設定が終了したら画面右上の「完了」をタップします。

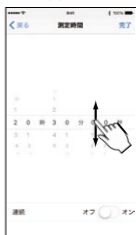


図-27

⑦ ログリストの表示：「Step-3. データの確認と共有」参照

⑧ スリープモードの設定：端末のスリープモード設定時、スリープモードの有効/無効が選択できます。


：有効にします。

：無効にします。（アプリの画面をOFFにたくない時）

全ての設定が終了したら画面右上の「完了」をタップし確定するとデータ表示画面（図-7）が表示されます。

## Step-5.その他の機能

## 応用編

図-3で右上の設定アイコン「」をタップすると「接続されたデバイス」が表示されます。(図-28)

### ① 本器の名前の変更

名前部分をタップして表示されるキーボードに文字を入力し確定すると任意の名前に変更することができます。(図-29)

「<戻る」をタップすると前の画面(図-3)に戻ります。

### ② 接続解除(削除)の方法

<お使いの端末がAndroidの場合>

1. 図-28で右上の「編集」をタップすると接続している製品名の右に「削除」アイコンが表示されます。(図-30)
2. 「削除」をタップするとビーブ音が長く鳴り、接続を解除します。削除しないで終了する場合は「完了」をタップします。
3. 「<戻る」をタップすると前の画面(図-3)に戻ります。



図-28



図-29



図-30

<お使いの端末がiOSの場合>



1. 図-28で右上の「編集」をタップすると接続している製品名の左に「」アイコンが表示されます。(図-31)
2. 「」アイコンをタップして製品名の右に表示される「削除」をタップ(図-32)するとビープ音が長く鳴り、接続を解除します。削除しないで終了する場合は「完了」をタップします。
3. 「<戻る」をタップすると前の画面(図-3)に戻ります。



図-31



図-32

(重要)

- ・削除すると本器と端末の接続が解除され**本器及び端末内のログデータは全て消去されます。**

接続を解除する前に共有機能

(「Step-3. ログデータの確認と共有」参照)を利用すればデータを転送してパソコン等に保存できます。

- ・再び接続する場合は接続操作が必要です。
- ・ロギング中は接続解除(削除)できません。
- ・ロギング中は本器の電源を切らないで下さい。測定中のログデータが消去されます。



### ③ ログデータの名前の変更

以下のどちらかの方法で変更することができます。

1. ログ一覧（図-12）の中の変更したい名前部分をタップして表示されるキーボードに文字を入力し確定するとログデータの名前を変更することができます。
2. データ表示画面（図-7）で「ログデータ名」をタップして表示されるキーボードに文字を入力し確定するとログデータの名前を変更することができます（図-33）。  
但し、ロギング中はこの操作はできません。



図-33

### ④ ログデータに写真の添付

ログ一覧（図-12）から写真を添付したいログデータの名前の左の「写真」をタップすると選択画面（図-34）が表示されます。

＜写真を撮影して添付する場合＞

1. 「写真を撮影」をタップします。
2. カメラモードになったら被写体を撮影します。
3. 撮影した写真を添付する場合は「写真を使用」、撮り直す場合は「再撮影」をタップします。



図-34



図-35

<端末に保存された写真を添付する場合>

1. 「写真を添付」をタップします。
2. 端末に保存された写真を選択し「選択」をタップします。
3. その写真を添付する場合は「OK」を、選択し直す場合は「再選択」をタップします。

<添付した写真を削除する場合>

1. 「写真を削除」をタップします。

### ⑤ ログデータにメモの書き込み

1. ログ一覧（図-12）からログデータの名前の右の「>」をタップします。（図-13）
2. 「コメント追加」をタップして表示されるキーボードに文字を入力し確定するとメモを書き込むことができます。
3. 入力終了後、「完了」をタップします。

### ⑥ ログデータの削除

<お使いの端末がAndroidの場合>

1. ログ一覧（図-12）で右上の「編集」をタップし、削除したいログデータ名の右に表示される「削除」をタップするとログデータが削除されます。（図-36）  
削除しないで終了する場合は「完了」をタップします。
2. 「戻る」をタップすると前の画面に戻ります。



図-36

## &lt;お使いの端末がiOSの場合&gt;

1. ログ一覧（図-12）で右上の「編集」をタップするとログデータ名の左に「**−**」アイコンが表示されます。（図-37）
2. 削除したいログデータの「**−**」アイコンをタップし表示される「削除」（図-38）をタップするとログデータが削除されます。  
削除しないで終了する場合は「完了」をタップします。
3. 「戻る」をタップすると前の画面に戻ります。



図 -37



図 -38

# 保証書

株式会社 **カスタム**  
印ス会

## 保証規定

本器は当社基準に基づく検査により合格したもので、下記の保証規定により保証いたします。

1. 保証期間中に正常な使用状態で、万一故障等が生じた場合は無償で修理いたします。
2. 本保証書は、日本国内でのみ有効です。
3. 下記事項に該当する場合は、無償修理の対象から除外いたします。
  - a 不適当な取扱い、使用による故障
  - b 設計仕様条件等を越えた取扱い、または保管による故障
  - c 当社もしくは当社が委嘱した者以外の改造または修理に起因する故障
  - d その他当社の責任とみなされない故障

型番	<b>CT-600BT</b>	シリアルNo.	
保証期間		年	月 日より1カ年
お客様	お名前 _____ 様		
	ご住所 _____		
	電話番号 _____		
販売店	住所・店名 _____		

販売店様へ お手数でも必ずご記入の上お客様へお渡してください。

株式会社 **カスタム**

〒101-0021東京都千代田区外神田3-6-12  
TEL (03)3255-1117 FAX (03)3255-1137  
<http://www.kk-custom.co.jp/>